

日本共産党市議会報告

明るい米子

2014年1月  
日本共産党米子市議会議員団／発行  
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)

# 秘密保護法は 廃止・撤廃を!

## 「特定秘密の保護に関する法律の廃止 または抜本的改正を求める意見書」を可決

十二月議会最終日の本会議で「特定秘密の保護に関する法律の廃止または抜本的改正を求める意見書」が14対13という僅差で可決しました。賛成したのは、共産党市議団の3人、最大会派「よなご会議」のうちの6人、2人会派「仁」のうちの1人、あとは1人会派で計14名です。

反対したのは保守系最大会派の「蒼生会」の7人、公明党4人など計13人でした。共産党市議団は意見書の文案

## 「陳情」を審議から締め出すな!

「陳情書」の扱いについて、従来「請願書」と同様としていたものを、来年の改選後から陳情は議員への配布文書、参考資料程度の扱いに大きく改悪される恐れが出てきました。陳情の扱いについては会議規則第95条で定められていますが、これを下の表のように変更されようとしています。

陳情書は配布にとどめ、審議して「採択・不採択」を決して欲しいければ、請願のように「紹介議員」を付ける!ということ。議員の紹介があろうとなかろうと、誰でも政治に対して陳情でき、それを審議する、これが市民から負託された議会の役割のはずです。

この会議規則の改悪案は、現在、特別委員会で審議され、議会基本条例案として

第95条 議長は、陳情書又はこれに類するものでその内容が請願に適合するものは、請願書の例により処理するものとする。

第95条 陳情書又はこれに類するものの取り扱いについては、議長は、議会運営委員会、各常任委員会等の委員に配付する。  
2 議題に供する場合は、議員提出の請願の取り扱いとして処理するものとする。

今年4月から消費税が5%から8%へ増税されるのに伴い、米子市の使用料や手数料が値上げされ、計1億7200万円の市民負担増となります。国民生活の実態を顧みることなく、また疲弊にあえぐ地域経済をさらに冷え込ませ、東日本の被災地復興の大きな障害を持ち込むことになるとの指摘を無視し、安倍政権は4月から消費税増税を強行しようとしています。

## 公共料金に消費税増税分転嫁 許されない!

す。国が押しつけてきたものとはいえ、「暮らしと命の防波堤」となって国の悪政から市民を守るのが、地方自治体に課せられた大きな役割の一つです。その大事な役割に目をつぶって、公共料金に消費税増税分を転嫁することは許されません。市に納税義務のある水道料金や下水道料金など以外にも、納税義務のない一般会計の使用料・手数料の消費税増税分計2600万円を国言いに転嫁することは、広がっている「格差と貧困」を一層ひどくさせるもので、許せません!

## 島根原発2号機の再稼働は認めない! じじいが出来ない

島根原発2号機の再稼働に向けた新規規制基準適合性審査申請を米子市も容認しました。福島原発事故は、未だ収束せず汚染水もれがつきつき発覚し、汚染が広がる一方です。また事故の全容が解明されていません。「新規規制基準」に適合しても「過酷事故は起こりうる、100%安全の保障はない」と規制庁も中国電力も言わざるを得ず、原発の再稼働はありえないと私たちは考えます。

議会に提出された3つの陳情の内、「島根原発の再稼働に対する慎重な判断を求める陳情」のみが継続審査となり、他2つは不採択でした。

## 「弓浜地域老人福祉センター」建設は白紙に戻せ

「弓浜地域老人福祉センター」に係る地質調査及び基本設計委託料の次年度以降の予算化が可決されました。これは米子空港滑走路延長に伴う米子空港周辺地域振興計画の一つとして、広島防衛施設局や県など関係機関で協議されてきたものです。私たちは基地強化のための滑走路延長には断固反対の立場を取ってきましたが、騒音被害ほか基地のあることで日常生活を脅かされている周辺住民の環境整備は当然のことと考えます。しかし、この施設は介護保険事業の中で、地域包括ケアシステムの核として、「ふれあいの里」「淀江福祉保健センター」に次ぐ三つ目の拠点となるものといいますが、介護保険計画の中で一度も審議されていません。先ず、策定委員会で審議すべきです。

## 2014年 頌 春

市民のみなさんの要求実現へ頑張ります



石橋よしえ



岡村えいじ



松本松子



岡村えいじ  
議員の一般質問

都市計画道路安倍三柳線

計画されている安倍三柳線を外浜産業道路から国道431号までつないだ場合、約十三億円の事業費が見込まれています。

**岡村議員** かなりの家屋が計画路線上に建っている状況だ。多額の事業費が見込まれることから、外浜産業道路まででよいのではないかとこの意見もある。

**建設部長** 外浜産業道路から国道431号線までの整備をしない場合は、交通量が外浜産業道路や周辺市道等に流入し、今よりも渋滞が生じると推測する

**岡村議員** 現在でも431号線は混雑している状況に、さらに交通が流れ込むような事業の必要性について、どう考えているか。

**建設部長** この路線は国道431号線と内浜産業道路を結び中心部へ流入する交通を緩和する機能もあり、重要な幹線道路で必要性が高い。

今年度から事業が進められている外浜街道から外浜産業道路までは、整備の必要性が認められま

陳情・議案に対する議員の態度

- ① 議会への「陳情」を今までどおりの扱いを求める陳情
- ② 島根原発の「新規制基準適合性審査」申請内容に関する情報公開と市民説明会を求める陳情
- ③ 市民の同意なく淀江産業廃棄物管理型処分場建設を進めないよう決議を求める陳情書
- ④ 特定秘密の保護に関する法律の廃止または抜本的改正を求める意見書

○賛成 ×反対		①	②	③	④
共産党	石橋 佳枝	○	○	○	○
	岡村 英治	○	○	○	○
	松本 松子	○	○	○	○
蒼生会	岩崎 康朗	×	×	×	×
	尾沢 三夫	×	×	×	×
	野坂 道明	×	×	×	×
	松田 正	×	×	×	×
	湯浅 敏雄	×	×	×	×
	渡辺 穰爾	×	×	×	×
	渡辺 照夫	×	×	×	×
よなご会議	伊藤ひろえ	○	○	○	○
	稲田 清	×	○	×	○
	岡本 武士	○	○	×	○
	国頭 靖	○	○	○	○
	小林 重喜	○	○	×	○
	西川 章三	○	○	×	○
公明党	矢倉 強	×	×	×	×
	笠谷 悦子	×	×	×	×
	原 紀子	×	×	×	×
	安木 達哉	×	×	×	×
一院ク	安田 篤	×	×	×	×
	遠藤 通	×	×	×	○
市民派	中川 健作	○	○	○	○
仁	中田 利幸	×	×	×	○
	三嶋 秀文	×	×	×	退
ムスカリ	門脇 邦子	○	○	○	○
コモンズ	杉谷第士郎	×	×	×	×
虹	山川 智帆	×	○	×	○
新政会	松井 義夫	欠席			
信	藤尾 信之	議長			

※表中「退」は「退席」

す。しかし、その先、国道431号まで延伸させる必要があるのか、しっかりとした検証が必要です。

住宅リフォーム助成制度

全国に広がる住宅リフォーム助成制度。米子市もぜひ取り組むべきとの質問に対し、市長は「創設する考えはない」と答弁。

**岡村議員**は「来年4月からの消費税増税で地域の業者が疲弊にあえぐところを座視すべきではない。助成制度を創設した場合の経済波及効果は大きく、いろいろな業界に広がり地域の経済も活性化すると主張しました。



石橋よしえ  
議員の一般質問

生活保護改悪は広く市民生活に影響し水準を引き下げ

**石橋議員** 生活保護基準が多くの制度や課税の基準となっており、今の生活保護基準で、憲法25条の生存権を保障出来るという検証がされているのか。

**市長** 国民の消費動向による検証で適正に運営されていると考える。

これに対し石橋議員は、調査は国民を所得別に10段階に分けた最下位の低所得層との比較だが、その層には生活保護基準以下でありながら保護を受けていない人が多数含まれる。保護受給者の、

(1日1、2食で凌いでも食べるだけが精一杯という)実態は反映されていない。実態を直接掴んでこれ以上切り下げると国に求めるべきであると追及しました。

**石橋議員** (扶養の強要をするなどという質問の続きに)保護申請をする人は、家族との関係も複雑な場合がある。扶養の照会は「一定余裕のある収入が見込め、申請者との良い関係が出来ている相手に限る」と厚労省は指示しているが、実態はどうか。

**福祉保健部長** (市の担当者が)必要と判断した時には、それでも照会をすることもある。



**石橋議員**は、人の心に土足で踏み込むようなことは止めるよう強く求めました。



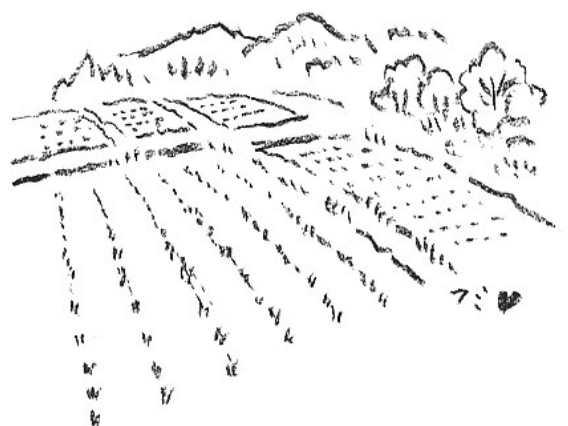
松本松子  
議員の一般質問

市民の声に答えて産廃処分場建設に反対を

**松本議員** 「最終処分場に反対する会」は、鳥取県知事に対する署名を11、119名提出された。署名に取り組む人たちの思いは、「子どもたちへの被害を防ぐ」、「このすばらしい地域をいつまでも残したい」という郷土愛である。自治会のうち同意されているといわれる地域でも自分の意思表示ができない圧力がある。「本当は反対なんだけど、でも反対できない」、「近所の世話にならない」、「近所の世話にならない」、「無記名投票させてください」など切々と意見を述べられる。許されないことではないか。

**市長** 不安をとり除くため県、環境管理事業センター・事業者に説明責任を果たしていただきたい

**松本議員** 市長は、繰り返しそう言われるが、猛毒ダイオキシンなど環境ホルモンが子どもたちの将来にどのような影響を与えるか、計り知れない不安と住民同士の関係が壊れかけている。このような



苦しみを与えていいのか。

市長は「理解が得られるよう・・・」と繰り返すばかり。

松本議員は、産廃で住民が二分され、地域の「コミュニティ」が壊されそうなる今こそ、市民の声を聞き、安心して住み続けられる地域を守るため、建設に「待った」をかけなければならぬ。本来、行政は、地域づくりが仕事だと強調しました。

大垣住宅は公約どおり「建替え」を

市営大垣住宅の「建替え」については、これまで一貫して合併の約束と地域審議会の答申通り「建て替え」を求めました。

改修については、入居者が納得できる環境整備を求めました。市は、年度内に1200万円、来年度以降は入居者の意見を聞き計画的に実施すると約束しました。

その他に低所得階層の保育料の負担軽減を求めました。

**お気軽に相談を**  
仕事・くらしの悩み

日本共産党生活相談所

電話・Fax 32-5590

米子市富士見町136

- 岡村えいじ Tel 29-3475  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>
- 松本 松子 Tel 56-2504  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/m/>
- 石橋よしえ Tel 28-7598  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>